

「紅葉カナディアンロッキーとオーロラ 9 日間」を 9 月 17 日～9 月 25 日に行いました。

今年もカナディアンロッキーの紅葉とイエローナイフのオーロラの二部構成。何時も晩夏のチロルツアーを終え、カルガリーに移動するとそこはもう紅葉が始まり、季節が 20 日以上進んでいます。カナディアンロッキーの最高峰マウント・ロブソン、カナダの代表的な景勝地ラーチバレー/センチネルパスで紅葉を楽しみ、オーロラの台地イエローナイフへ出かけました。バンフ:北緯 51 度・標高 1300m、イエローナイフ:北緯 62 度・標高 200m、緯度と標高の違いから両者の紅葉は殆ど同じか若干イエローナイフ早い程度。言い換えればこの時期のカナディアンロッキーとほぼ同じ気温でオーロラが鑑賞出来ます。尚、日本の大部分の皆様は、「オーロラは冬」と勘違いされていますが一年中現れています。因みにイエローナイフの場合、夜が短い夏至前後、天候に左右される晩秋を除き、オーロラ鑑賞が行われています。



(オーロラ・ダンス 9/23 日)

○カナディアンロッキーハイキング

上空から見たカルガリーは紅葉した木々がちらほら。バンフはアスペンの葉が黄色に色付き、晴れ時々わか雨の肌寒でしたがパンフスプリングホテルへ散策に、夜は中華で初日の乾杯！翌日は 300km 離れたジャスパーへ移動、途中のコロンビア大氷原で氷河観光。翌朝のジャスパーは快晴でカナディアンロッキー最高峰ロブソンを見にキニーレイクを選択。ところがカラマツ、アスペンの黄葉は綺麗でしたがロブソンは雲に隠れたまま。この地方は今年雨が多い様できのこが沢山生えていました。ここは海拔 800m、気温も適度で松茸が生える所です。尚、カナダ産松茸は白色で赤松に生える日本と違い榎の木など針葉樹の足下の苔中に生えています。

ハイキングの最終日はレイクルイーズ/モレーンレイクから入り、ハイライトのラーチバレー、センチネルパスに登りました。丁度紅葉真っ只中で晴れ、曇り、時雨と変化に富んだ天気の色合いを引立たせてくれました。そんな中、森林限界から少し下がった林の中に雷鳥(ターミガン)を発見！

文章が長くなりますがクマ注意の掲示板(写真)の英文を紹介します。

トレイル入口の単なる掲示板ですが凄い事が書いて有ります。掲示板に Mandatory が「レ」で表示された場合はご注意ください。

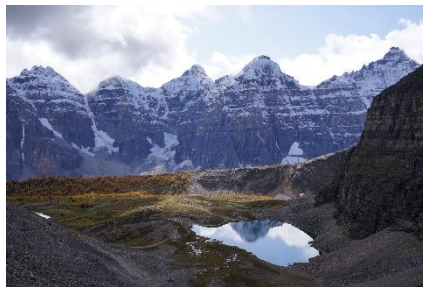
Group Access means travel in tight group of **4 or more for safety.**

When group access is mandatory, you must travel in a group of 4 or more **BY LAW.**

Anyone not complying with minimum group size may be charged and subject to court appearance and **maximum fine of \$5000.**



(ラーチバレー9/20 日)





(松茸擬き)



(ターミガン)



(インディアンペイントブラシ)



(テンピークス 9/20 日)

○オーロラ・ウォッチング

★9月21日

イエローナイフは3日間滞在すればオーロラを見るチャンスが可也高い、と言うのが歌い文句の地。プロペラ機で2時間半かけカルガリーからイエローナイフへ。上空からは雲が厚く街は見え、着陸すると滑走路に水溜りが。今シーズンは天候が安定しないとか。21:40にホテルを出発、ところが鑑賞ポイント到着前からオーロラが現れ、湖水の袂で途中下車すると揺れ動くオーロラ・ダンスがみられました。ひと段落して目的地のキャビンに向かうと不思議な事にオーロラが消滅、その後残念ながら殆ど現れませんでした。尚、この地のオーロラは22時〜3時、東-西に発生する確率が高い様です。

★9月22日

午後から一時激しく降った雨は上がりましたが雲厚く、残念ながら全滅。

★9月23日

日中は雲の多い1日でしたが夕方から雲が切れて快晴に。今日は待望のボート&バーベキューでオーロラ鑑賞をする日。ボートで出発すると既に綺麗なオーロラが現れ、オーロラ爆発の予感が高まりました。北米名産のアルバータービーフもそこそこにオーロラ撮影。午後11時過ぎにオーロラが動き出し天空に舞う大自然の芸術、オーロラ・ダンスが始まりました。この日は23:00と翌日1:30の2回大きなオーロラ爆発が発生。この感激は筆舌に尽くし難いので、ここで終わります。



(オーロラ 9/23 日)

☆9月21日



☆9月23日



今年はいエローナイフ、バンフ、ジャスパー共に混雑からホテル手配で苦労しました。
このツアーに参加をお考えの皆様は早めにお知らせ下さい。

記 天溪 赤沼